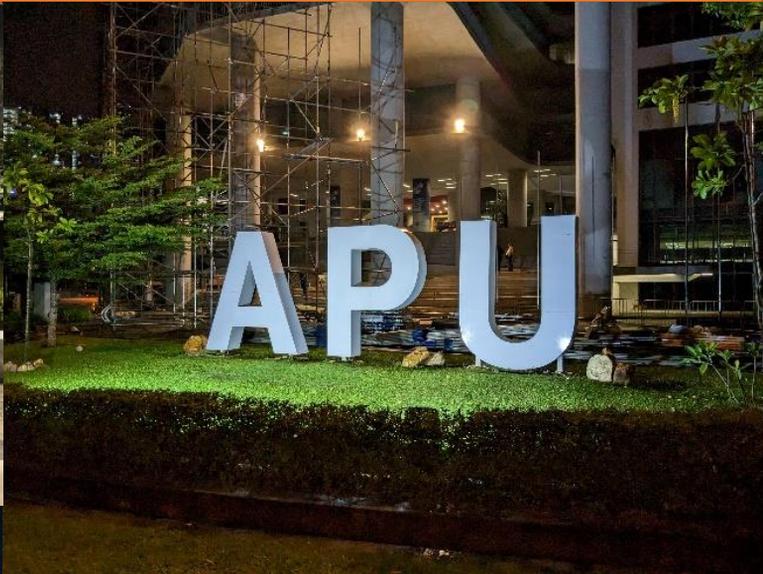


2023年春渡航



2023年春渡航



2023年春渡航



2023年春渡航



2023年春渡航



2023年春渡航





文化の違いや人間性の違いから多くの刺激を受けられていい経験になりました！英語を話すことへの怖さが少なくなりました。

建築学部 建築学科 1年 長瀬 凜々子さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア APU

プログラムに参加したのは、今まで日本から出たことがなく、日本と違う文化を持つ人々や環境の違うところに建つ建築にリアルに触れてみたかったからです。もちろんアメリカやイギリスにも興味がありましたが、自分の英語力や海外慣れしていないことを考慮してマレーシアを選択しました。英語の先生と相談してマレーシアが初海外におすすめで現地の人が親しみやすいことを知ることが出来たので、聞いてみて良かったと思います。

研修内容は、午前11時から午後1時までReading&Writing、2時から4時までListening & Speakingの授業が行われ、1か月の中で中間テストと最終テストのふたつの試験を受けます。授業ではレベル別に分かれたクラスメイトたちとグループワークしたりプレゼンテーションをしたりします。クラスにはマレーシア人というよりは留学生がほとんどで、アラブ系の人、フランス人や中国人など様々な国の人たちと関わる事ができるため、毎日話す人ごとに新しい体験がありました。

語学留学と聞くと英語の勉強ばかりで堅苦しいイメージがありましたが、学校以外の場面でもたくさんの人とコミュニケーションをとる機会があるし、プログラムで出会った芝浦生や現地の人と友達になって、楽しい留学になりました。今まで英語を使うことに怖がって文法的によく考えれば分かることでもなかなか言葉にできないことが多かったのですが、今は正しい文法を使うことより相手に伝わることを優先しようという考えが変わったので、留学前よりは話すスキルは向上したのかなと感じます。また、海外の留学生は英語を話せるけど書けないという生徒が多い中、日本人は書けるけれど話せない人が多い印象を受けたため、自分で勉強する座学だけでは養えないスピーキングの部分を今回伸ばすことが出来ていい経験になったと思います。

語学研修に参加することで、英語力が向上し
多様性のある友人が増え、自分の価値観を
見つめなおすことができました！



システム理工学部 電子情報システム学科
2年 平良 幸久さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・APU

1か月のマレーシア語学研修で、様々なことを身に染みて実感することができました。マレーシアは日本と違うところがとても多く、マレーシアにいた1か月間は驚きであふれていました。人種、宗教、気候などの大きなものから、人への接し方や食べ物などの些細なことまで日本と違うところがありました。もともと、僕は英語を話すことに意欲があり、海外への興味も高かったため、この留学の案内メールが来たときはすぐに応募しようと思いました。マレーシアではAPU（アジアパシフィック大学）で、様々な国から来た人たちと一緒に英語を学びました。30人ほどの団体にマレーシアに留学に行きましたが、僕の場合は、一日の中で日本語をしゃべる機会よりも英語を使う機会のほうが多かったです。毎日、英語を使って話して、聞いて、文字を書き、わからないところがあれば調べるということを常に行っていました。特に印象的だったのは、トルコから来た17歳の少年で、ペーパーテストでは、僕と同じぐらいの点数だったんですが、英語で喋ることに何の躊躇もな、く間違っただとしても恥ずかしさなどは一切なく、その場で伝わるまでトライしていました。僕はそれに驚いた半面、僕が他人を意識しすぎているなども感じて考えを改め、英語を喋ることへの恥ずかしさみたいなものを消すことができました。1か月という短い留学プログラムでしたが、英語圏での生活に触れる体験をしたことで、やはり英語へのモチベーションが上がり、英語自体へのとらえ方（理解の仕方）などがより鮮明に分かるようになりました。さらに、英語力だけでなく自分の価値観やライフスタイルにもいい影響をもらうことができました。

マレーシア留学は芝浦工業大学が出している4週間の留学プログラムの中で比較的安く、それでいて英語や文化の違いを存分に味わうことができるのでとてもおすすめです。



外国人の友達ができ、いろいろな考えに出会えた！

工学部 情報通信工学科
2年 園田 大陽さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア APU

大学生のうちに留学に一度は行ってみたいと思っていたのでこの留学プログラムに参加しようと決めました。また、英語をやろうやろうと決めていたけれどもなかなかやる気がでなくて、このような機会があると知ったのでこれで短期集中的に英語を学ぼうと思いました。

マレーシアのAPUでは、日本人だけではなくてほかの国の人もいて日本人だけという環境から抜け出したことによって英語を使わなければならないといけいという状況になりいやでも英語をしゃべる機会があったのでよかったなと思いました。授業は平日午前中2時間、午後2時間という時間割ですくないと思いがちですが、すべての授業が英語で行われるので、ずっと頭を英語脳にしておかないと聞き取れないという状況になるのでとてもリスニング能力が上がったような気がします。

1か月とって長そうに思えるけれども楽しくて一瞬で終わったような感じがしました。外国の人たちは日本人のことが好きなようでいつも優しく接してくれて、英語で話しやすい環境でした。また、放課後とかに外国人とサッカーをしたり、その後にご飯に行ったりとかして英語を話せないけれども、英語を話さなければならない環境にいますごく英語力が上がった気がします。外国人はやはりアニメのことが大好きでいつも話す内容がアニメの話ばかりでアニメの知識を入れておくと話す話題ができていいと思います。1か月という短い期間の留学でも、とてつもなく英語のモチベーションがあがりもっと外国人の人と話せるようになりたいとおもい英語の勉強をさらに頑張っています。英語が話せないから怖いとか、海外に行くのが怖いなどの理由で留学を悩んでいたならもったいないので、ぜひ行ってみてください。とても楽しかったです。

様々な国から来たクラスメイトと積極的に話し、英会話力が身に付きました。そして英語が身近なものに感じられるようになりました！

建築学部 建築学科 2年 高野 さち子さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア APU

大学生になってから英語をしっかりと勉強する機会や環境が無く、短期間で英語を学習して力をつけたいと考え、語学研修に参加することにしました。マレーシアAPUは4週間の留学プログラムであり、短期留学では1番長い留学期間であるため、より英語力を高められると思い選択しました。

滞在期間中は、平日にリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの授業がそれぞれ1時間ずつあり、毎日4時間授業がありました。どれもグループワークで進んでいく授業だったため、多様な国から来たクラスメイトたちと必然的に話す機会がありました。クラスメイトも母国で獣医や弁護士をしていた人などさまざまな境遇にいる人や、毎週金曜日はイスラム教の人々がモスクに礼拝しに行くために伝統的な衣装で学校に来るなど、新しい価値感や文化の違いに触れて学ぶこともできました。最初にテストを受け、その成績によってクラスが決まりますが、母国語の違う同じ英語力を持ったクラスメイトと話すことは難しかったです。しかし、英語が通じたときはとても嬉しく、使う言葉は簡単なものですが日常会話を楽しむことができました。そして自分の英語力に自信ができました。

国によって生活のスタイルや宗教、考え方などが大きく異なるため、英語が話せるようになるだけで関わる人や知る知識、文化、そして価値感が非常に増えることがわかりました。そして英語を話し、外国の人と関わることで新たな自分にも出会えると考えます。また、英語力を試す試験はまだ受けていませんが、大学のプロジェクト活動で外国の方と話すときに自分の言いたいことがすぐに英語で出てくるようになりました。良い思い出と経験ばかりなため、もしこのプログラムに参加を迷っている人がいるならば是非参加していただきたいです！



とにかくマレーシアを満喫しました！

システム理工学部 環境システム学科
2年 平田一真さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア APU

最初は一か月の留学に不安が大きかったが、空港から降りるともう新しいものばかりでとても楽しかった。特に留学先の大学での時間は毎日他国の友達と話せて楽しかった。マレーシアと聞くとごはんがおいしいのか不安になる人もいるが、とてもおいしい料理が安く食べられてよかった。とくにナシゴレンとカレーラクサが一番おいしかった。観光名所も多く。自分はマラッカとペナン島、パトゥ洞窟、ゲンティンハイランドなどの有名な観光名所に行った。学校と観光と日常生活という3つのことが一度にできる最高の内容になっている。大変だったのはトイレである。トイレは国によってかなり違うため注意が必要だと初めて知った。治安は別に悪くなく、夜8時からいまでは明るいし、夜12時からいまでなら一人で出歩ける。チャイナタウンに行くとおいしい店と偽物の商品売る店が混在している。私たちが止まったホテルの最寄り駅はKLCCという駅で、その近くにツインタワーがあるので立地最高だ。また、ブキビンタンという街もよかった。とにかく屋台が多いので安く飯を済ませたいならおすすめだ。



語学研修に参加することで、自分の英語力の未熟さを知ることができました。またその経験をバネにして英語の学習をより頑張っていきたいと感じました。

システム理工学部 環境システム学科
1年 石井 大智さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・APU

私自身、初めての海外渡航であったので、渡航前は不安な気持ちでいっぱいでしたが、いざ参加してみると現地の人々、クラスメイトたちがとてもやさしく接してくれたり、未知の街を散策したりすることがとても楽しかったりと、不安な気持ちはすぐに吹っ飛んで行ってしまいました。4週間はとても長いようでとても短いものでした。もし語学研修を検討している方がいるのならば、4週間がおすすめです。これより短いとなると、生活に慣れることに必死になってしまい、本来の目的である語学力の向上に意識を向けることがおろそかになってしまうと思います。なのでじっくり4週間、異国で過ごしてみてください。きっとあなたの力になると思います。

そしてここからはAPUに留学する人に向けてのお話です。APUはドレスコードがかなり厳しい学校でした。Tシャツ、ジーパンは持って行かず、しっかりと襟付きのシャツを持っていきましょう。また、学校内は空調が効きすぎているので、カーディガンなどをもっていくことも忘れないでください。靴もしっかりとした革靴、運動靴などを持っていきましょう。サンダルのようなものはNGです。ドレスコードさえ守ればほかに心配することはあまりないと思うので、APUでの生活を楽しんでください。



毎日がとても新鮮でした！

工学部 機械機能工学科
2年 坂本 拓海さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・APU

高校生の時にアメリカに2週間ほど短期留学をして、英語でコミュニケーションをとることや海外の文化に触れることの楽しさを知りました。今回このプログラムを選んだ理由は、渡航型で高校の時よりも期間が4週間と長く、また、せっかくならまだ行ったことのない国、マレーシアで様々な人と関わりたい、文化を知りたい、と思いこのプログラムを選びました。また、マレーシアが発展途上国というのもあり、日本では経験できないようなことが多いだろうということも大きかったです。

滞在期間中は、平日は午前中に2時間リスニングとスピーキング、午後2時間リーディングとライティングの英語授業を受講し、英語のスキルを学びました。クラスにはいろいろな国の留学生もいて、グループディスカッションやプレゼンテーションの際は、いろいろな意見があり、とても興味深かったです。土日や授業後は自由に過ごせるので、観光したり、学校で仲良くなった留学生と一緒にご飯に行ったりしていました。

4週間という短い期間でしたが、マレーシアでの4週間は毎日がとても新鮮で、新しい出会いや気づき、挑戦がたくさんありました。今回の留学で、改めて英語を使うことの楽しさ、海外の人と仲良くなれる嬉しさ、海外の文化に触れることの楽しさを感じることができました。一方、自分の英語が未熟なゆえに苦労する場面も多くありました。今後は、この経験が無駄にならないように英語学習を継続し、また機会があれば長期の留学や海外に行こうと思います。



多国籍のクラスメートとの毎日の会話により、
英語で伝える力が劇的に上達した。
新しい発想や刺激を得る事ができ、異文化を
理解する重要性も実感した。

システム工学部 機械制御学科
1年 井坂 凌さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先：マレーシア・APU

留学はいずれしたいと考えており、まずは近場のアジアで期間の長いコースを選定しました。APU4週間のプログラムでは平日に2時間x2コマの授業があり、2~3回で1テーマにつき勉強します。テーマは「共通性と差異性」「中毒」「文化ごとの結婚様式」など。先生もわかりやすくガイドしてくれるので完全に英語のみのクラスでもついていけました。中間と期末で軽いプレゼンテーションを実施するので、その準備には時間を要しました。英語のクラスは、入校時のテストで6段階に分けられます。

クラスメートは中東アジアやアフリカなどの国の人が多く、普段会うことのできない人たちなので、食べ物や生活、家族のことなどたくさん会話をしました。マレーシアはイスラム教徒が多い国で私のクラスもムスリムが多かったです。イスラム教では金曜日に礼拝をし、その後 皆で食事に行くという風習があるようで、アラビック料理のご飯会に誘われて行ったMishaltitというレストランはめちゃ美味しかったです。期末テストのあとはクラスのメンバーで大きなモールに行き、ボーリングやスケートやカラオケで盛り上がり、最後の楽しみになりました。

学生は寮に滞在するケースが多いのですが、私達はクアラルンプールのホテルでの滞在となり、悠々自適な1ヶ月を過ごすことができました。ホテルから大学までは毎日シャトルバスでの通学でした。朝食・昼食は大学のカフェテリアで食べ、夕食は外食となります。ホテルから少し歩いたところの屋台は格別に安くて美味しかったです。週末は土曜日にAPUプログラムとしてクアラルンプール周辺の観光地に行き、日曜は完全なフリーなので日帰り小旅行をすることもできます。

プログラムの最初の頃は英語でのクラスに不安がありましたが、帰国する時にはあっという間だったと寂しくなりました。マレーシアはたくさんの文化が混ざっている国です。街並み・食べ物・人種・宗教など体験するもののほとんどが日本とは違うので新しい刺激になると思います。

自分も英会話力をさらにアップさせて、もっと多くの国の人たちとコミュニケーションしたいと思います。



異文化交流尽くしの4週間

建築学部 建築学科 2年 原田 花さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・APU

もともと在学中に留学に行きたいという希望があって、今回短期語学研修ができること知り距離や費用、期間を考えてマレーシアのAPUに決めました。また、英語は得意な方ではなかったため欧米に比べてアジアの方がハードルが低いかなという考えや食事も比較的口に合いやすいただろうと思いプログラムに参加しました。

滞在期間中は平日は2時間×2コマの授業を毎日受け出された宿題を次の授業までやってくるといった形でした。Listening & Speaking の授業ではグループと個人プレゼンテーションを合計4回行いました。グループプレゼンテーションでは授業後にグループのメンバーで集まりスライドやスクリプトを制作したりと言葉が通じず苦戦しましたが結果的に上手く仕上げられ、仲も深めることができたので良かったです。4週間で特に強く感じたことはそれぞれが多様な文化をもっていることです。私のクラスにはフランス、タジキスタン、アラブ諸国といった多様な国から来た人がいたため自国の文化について話し合う時間がとても楽しく勉強になりました。日本にいたらめったに関わることができないだろう国の人と話ができたり宗教について教えてもらったりと興味深いことで一杯でした。4週間で英語力がどれだけ上達したかははっきりとはわかりませんが確実に初日に比べるとリスニング、スピーキング力は上がったと感じた場面がありました。4週間という短い期間でしたが様々な経験をして非常に密度の濃い時間が過ごせたので参加してよかったと思います。

語学研修に参加してみて、日本人は他国の留学生と比べるとリーディング、ライティングが得意な一方スピーキングやリスニングが弱みになっていると感じました。やはり面と向かって話すことがこれらの力を上げるためには必要だと思います。そのため私も今後は少しでも英語でコミュニケーションを取り合う機会を設けていきたいと思いました。



日本にはない考え方や文化に触れられたとても有意義な体験でした！

工学部 機械工学科 1年 太田 夏瑠さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・APU

私は芝浦の英会話を一年間受講していたため、自分の英語力の向上を実感したいと思い、留学することにしました。また、この留学プランの費用が非常に安価であったことも留学を決意した要因です。しかし、渡航前、私はまるで海外の文化に興味はありませんでしたし、マレーシアのことも知りませんでした。そもそも、私は外出が好きなほうではないですし、大人数で何かをすることが得意ではありません。そんな人間に留学は向いてないと思われるかもしれませんが、そんなことはありません。行ってみてわかりましたが、海外というのは日本などよりも個人の行動を尊重していました。ですから、日本よりも授業の雰囲気はとても緩いような感じでした。いろんな国の学生が好き勝手に意見を出し合うのは日本の授業では見られない面白い光景でした。学校一つとってもみても、いろんな文化の違いが見受けられます。食事、授業、人間観家など日本との違いは数えきれないほど、感じられます。正直に言うと、この違いを好ましく思い、マレーシアのことが好きになるひとはたくさんいると思いますが、留学に行くことで日本の良さを再認識する人もいると思います。ちなみに私は後者でした（笑）。しかし、この留学に言った経験自体は非常に良いものであったと感じています。まともに話せない悔しさから、英語へのモチベーションは非常に高まりましたし、日本食のおいしさを再認識することができました。いずれにせよ、留学という経験は皆さんに新しい価値観を与えてくれますし、今までの経験をさらに素晴らしいものにしてくれるはずです。もちろんつらいことはあると思いますが、終わってみればすべてがよい思い出になるはずです！

英語を話すことへの抵抗がなくなりました！
英語学習のモチベーションが上がりました！

工学部 情報通信工学科
3年 丸山 裕太さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・APU

私が語学研修に参加を決めたのは、大学生生活中に一度は留学に行きたいという気持ちがあったからです。しかし、私は今までで一度も海外に行ったことはなく、ましてや飛行機にも乗ったことがありませんでした。それでも留学ができるのは自由な時間がたくさんある大学生のうちしかないということで留学を決心しました。その中でマレーシアを選んだのは期間が4週間であること、授業時間が長いこと、費用が比較的安いと言うことです。

滞在期間中は、一番最初にテストを行いレベル別に講座を分けが行われました。2日目からは授業が開始され、私の講座は午前2時間が Listening & Speaking、午後2時間が Reading & Writingの授業でした。午前中の授業ではテーマに沿ってグループでディスカッションをしてプレゼンをしたり、リスニング教材を聞いたり、英語の歌を聞いて単語を聞き取るなんてこともやりました。午後は英語長文を読んだり、テーマに沿って英文を書いたりしました。たくさんの国の人達が英語を学びに来ているので、その国のことや考え方などたくさんの日本とは違うことを知ることができました。異文化交流をするという観点ではこのプログラムは特に優れていると思います。

このプログラムに参加してよかったことは大きく分けて2つあり、1つ目は英語を話すことへの抵抗が薄れたことです。それが英語学習のモチベーションアップにもつながりました。2つ目は異文化交流ができたことです。多種多様な背景を持つ人達と関わることで自分にはない考え方や価値観などとても多くのことを学ぶことができました。

今後は英語学習にさらに力を入れるとともに、海外旅行なども行こうかなと考えています。このプログラムはここに書いたこと以外にも本当にたくさんのことを学べます。参加するかどうか迷っている人は是非参加してみてください！



英語力が身につくと共にグローバル力が
上がりました！

工学部 情報通信工学科
3年 白倉 光騎さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： APU大学

本プログラムに申し込んだ理由は学生中に一度海外に行って授業を受けたいと考えていたからです。前々から海外にとっても興味があり、英語を話せるようになりたいと考えていました。そのため、海外に行って授業を受ければ日本で学んだ内容をアウトプットする機会が得られると考えたからです。また、いずれは長期の留学に参加することを考えているため、留学がどのようなものか、自分に適しているかを確認するためにも参加しました。

本プログラムでは英語の4技能全てをまんべんなく学ぶことができました。プログラムを終えて英語力ももちろん上がりましたし、海外の友達がたくさんできました。他文化や宗教にも触れることができ、自分のグローバル力も上がったと感じています。また、今後も長期のプログラムに参加したいという気持ちがより強くなりました。

もし参加しようか迷っているのでしたら、留学先で関わる人は皆とても優しい人ばかりですので自分の世界を広げるためにも一度は参加してみると良いと思います。



プレゼンテーションやディスカッションに参加し英語力を向上することが出来た

工学部 機械機能工学科
2年 中西 蒼一郎さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・APU

高校生のころから留学に挑戦したいと思っていたものの機会がなく諦めていた時に今回のプログラムを聞いて参加することにしました。私はたくさんの派遣先の大学がある中で英語が浸透し、4週間の長いプログラムであるマレーシア・APUを選びました。

潜在期間中は、平日は午前でリーディング・ライティングを2時間、午後リスニング・スピーキングを2時間受講し教材や担当の先生が用意したテーマに沿ってクラスメイトとディスカッションやプレゼンテーションを行うことで英語力だけでなく海外の文化や言語も学ぶことが出来ました。特に英語での会話をすることでリスニングとスピーキングの力はついたとプレゼンテーションの場面や休日の外出で実感することができます。また小テストや最終テストがあるので授業後や休日を使って勉強したり、クラスメイトと勉強会をし英語に触れる機会が増えました。大学はとても広く校内にバスケットコートやフットサルコートがあるので放課後に運動することが出来ます。

今回の留学プログラムを得て、英語力向上だけでなく外国人とグループ活動でどう進めていくのかやマレーシアの文化に触れることが出来た。この経験は日本ではえれない経験であり、将来仕事をする際に役に立つと考えています。

英会話を行うときの頭の使い方や思考の生理、またそれらの発見から今後の勉強計画の見通しが鮮明になった

システム理工学部 環境システム学科
1年 根木 祐輔さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アジアパシフィック大学

マレーシアは年中温暖で半袖半ズボンでも過ごしやすい気候だった。蚊や虫などの懸念点から最初は長袖を着用するように言われていたがそこまで気にする必要はないと感じる。もちろん蚊には刺されるが、虫よけスプレーを持っていれば問題ない。想像以上に衛生環境が良くIBISホテルでは水道水が飲めた（飲んでも体に異常はなかった）。シャワーの水も泥臭くなくインドネシアなどほかの東南アジアと比較してもとても環境が整っていた。それに加え、私は「beem」という電動二輪に乗っていた時に事故に巻き込まれ大きな擦り傷を全身におってしまった。けがをして数日は感染症におびえていたが衛生環境のおかげで病気にかかることはなく、また大学内に設置されていた病院ですぐに処置を受けることができた。街中にも大きい病院があり、マレーシアは医療環境が整っていると言える。食に関しては、最初は辛い物が多く厳しい部分があるだろうが慣れてくると美味しく感じられる程度の辛さである。もちろん辛い食べ物もあるため、どうしても辛い物がダメという場合でも食には困らないだろう。

英会話については表題にもある通り独特な頭の使い方に苦労した。具体的には高速で和文英訳をこなすものに近い。留学に臨むような実力のある人にとっては、リスニングの面においては苦労することは少ないと思う。脳内にある英語にしにくい（単語の難易も含め）ものをどのように英語に変換するか、が問題となった。向こうもこちらが非英語圏の人間であることを理解しているため単語を調べる時間は充分にあったので難単語に対しての勉強は優先度が低いと思われる。また、日本語を介さず英語が出てくるようになるには訓練が必要なので留学中に身に着けたい。私も簡単な英文ならなんとなくできるようになったと感じている。個人的に留学前に勉強しておきたかったのは基本文法である。文法がわからないと話にならない。聞き取りはできるが言葉にできないため結局翻訳に頼ることがしばしばあった。

周りに外国人がいるという普段と違った環境が、英語力向上につながりました。英語のモチベーションも上がりました！

建築学部 建築学科 2年 野口 美夏さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： マレーシア・APU

英語をたくさん話したい！そう思って参加したのがこのマレーシア4週間のプログラムです。このプログラムは、色々な国から留学生が集まって英語の授業を受けるというものです。みんな母国語が英語ではないため、文法の間違いなどは気にせずに英語で話すことにチャレンジできました。授業はリーディング・ライティングが午前、リスニング・スピーキングが午後に、それぞれ2時間ずつありました。普段受けている授業とやり方が異なり、今後の英語学習に役立つものばかりでした。

マレーシアに来てすぐは英語を話すことが苦手だったこともあり、他の人に助けてもらわないと会話ができない状態でした。ですが、2週間目くらいから英語を話すことに少し自信が出てきて、もっと英語を話せるようになりたいという気持ちになりました。もし2週間でこのプログラムが終わってしまっていたら、このような気持ちにならなかったと思います。マレーシア4週間のプログラムを終えて、このプログラムで本当に良かったと思っています。



外国人と積極的にコミュニケーションをとることで、英語だけでなく文化なども学べる！

建築学部 建築学科 2年 福士大地さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

公開可否： 可 不可 派遣先： マレーシア・APU

僕は今まで留学をしたことがなく、学生の間には一回は留学してみたいと思っていたので、今回APUの4週間の語学研修プログラムに参加しました。また、僕は英語が大の苦手で、勉強しようと思ってもなかなかやる気が起きず悩んでいたため、とてもいい機会だと思い、英語圏で尚且つ他のプログラムに比べると比較的安価なこのプログラムに決めました。

僕はせっかく海外に行くなら海外の友達をたくさん作ろう！と思っていたので、学校初日から同じクラスの留学生に積極的に話しかけました。最初はやはりものすごく緊張しましたが、外国人はフレンドリーな人がとても多くてすぐ仲良くなれました！学生食堂でも積極的に話しかけたり、一緒にご飯を食べることで他のクラスの留学生とも交流することができました。また、学校で仲良くなった留学生に30人ほどのフットサルに招待してもらって、そこでも交友関係を増やすことができました。休日や放課後は仲良くなった友達と観光したり、ご飯を食べに行ったりもしていました。

コミュニケーションをとることで、listening speakingの力がつくことはもちろん、文法や語彙も意識するため、とてもいいトレーニングになりました。また実際に英語で会話することで、学校では学べないことを学ぶことができました。例えば、英語のスラングだったり、外国人の考え方や文化についてです。APUには様々な国の留学生が集まっていて様々な文化を持った人が集まっているので、それらを直接みたり聞いたりして知ることができたこともとてもいい経験になりました。外国人と話していて、「こうやって言いたいのに言い方がわからない…」や「うまく伝わらなかった…」という悔しい経験を何度もしたことによって、英語学習のモチベーションが格段に上がりました！。これを読んでる人もぜひ留学に行ってみてはいかがでしょうか！